

しもつけ

学校だより

Vol.1 薬師寺小学校

所在地 下野市薬師寺1412

電話 48-0009

教育目標（めざす児童像）

- ・心ゆたかで 思いやりのある子ども（感謝）
- ・よく考え すすんで学習する子ども（自主）
- ・健康で 明るい子ども（明朗）
- ・責任をもって やりぬく子ども（忍耐）

学校長 武田 武夫 学級数 13クラス

児童数 279名 職員数 28名



薬小を支える3愛

①友だち愛

本校では、特色ある学校づくりとして、心豊かな薬小っ子を育む3愛活動を推進しています。

まずは、友だち愛。友だちとの「学びあい 喜びあい はげましあい」で共に伸びていくために、学年学級だけでなく、その枠を外した20年来続く異学年縦割り班活動があります。全校を24班に分けて、6年生がリーダーとなり下級生をまとめ、共遊を中心に、また運動会や縄跳び大会など行事を通して、集団の結束を強くしています。共遊の時間には、班ごとに思い思いの遊びをしたほか、全校での鬼ごっこやカルタとり大会もありました。こうした活動を通して、下級生への思いやりと、上級生への信頼感が醸成されています。



②地域愛

二つめは、地域愛。本校の学区には下野薬師寺跡をはじめ、史跡や文化財がたくさんあり、歴史と文化に恵まれています。また、かんぴょうやほうれん草作りなど、地域に根ざした農業も行われています。

社会科や総合学習を通して、これらを教材として扱うことで、郷土を知り誇りと愛着がもてるように心がけています。特に、5年生は、薬師寺探検隊として、地域の史跡や伝説などを調べ、紹介し合いました。グループ毎に現地を訪ね見学したり、寺院の住職さんから話を伺ったりと、ふるさと再発見の時間となりました。また、3年生はかんぴょうを取り上げ、JAや地元農家の方の協力で、栽培から収穫まで体験し、収穫した実を乾燥しふくべ細工作りまで行いました。かんぴょうの商品化や伝統工芸としてのふくべ細工など、かんぴょうを通して郷土の伝統的な産業を学ぶことができ、貴重な時間となりました。



③PTA愛

三つめは、PTA愛。保護者や地域の皆さんは、学校をよく理解し協力してくれます。そして、子どもたちの学習を支援し、教育活動をより効果的に展開するための大きな力となっています。例えば、生活科の校外学習や昔遊び支援、家庭科でのミシン縫い、図工科の木版画指導など、保護者や地域の皆さんの力は広がりつつあります。

1・2年生は生活科の昔遊びを通じて、地域の大先輩「高砂会」の20名余りの方と交流しました。寒い冬の日でしたが、熱心にアドバイスしてくれる皆さんから、たくさんの元気をもらいました。4年生は、本校の卒業生であり、版画家の菅沼みや子さんから木版画を指導していただきました。入門期の4年生にとって、下絵作成や彫りのポイントをわかりやすく指導いただき、子どもたちは根気強く作品作りに取り組みました。6年生は、家庭科のミシン縫いの学習で、保護者（母親）の力を借りました。学校では機械操作上のトラブルも多く、個々の活動支援という点で大きな力となり学習が円滑に展開できました。このように、保護者をはじめ地域の皆さんとのつながりを通して、心豊かな子どもたちを育てています。



今後も薬師寺小学校は、学校の伝統や地域の特色を生かしながら、地域に根ざし、地域に開かれた学校づくりを目指していきます。